No.229
2026.11.20
（令和8年）

響き

荘原コミュニティセンター報

つながる荘原 笑顔の未来
活かそう人を歴史を資源を

荘原のうごき

令和8年9月末日現在　前月比

世帯数	2,879戸	（＋ 2）
男　性	3,600人	（－ 9）
女　性	3,884人	（＋ 5）
合　計	7,484人	（－ 4）

発行／荘原コミュニティセンター
出雲市斐川町荘原3835（電話）72－4600（FAX）72－4602

9/30（水）

さつまいも掘り　自主企画事業　こども倶楽部

こどもたちが毎年この日を楽しみにしている「さつまいも掘り」。今年も、雨が少なく無事育つのかと心配していましたが、何とかこの日を迎えることが出来ました。収穫量は少なかったのですが、荘原幼稚園・東部保育園のこどもたちが一生懸命掘って「取れたよ!!」と満面の笑顔を見せてくれました。

収穫したさつまいもは、例年荘原地区文化祭で焼きいもにして販売するのですが、今年は量が少なかったため、急きょ「さつまいもご飯」に変更。まちづくり部の豚汁と併せて大好評で完売しました（売り上げは全て令和8年度熊本地震の被災地にお届けします）。









当日、畑に向かうと、何とそこには「さつまいもの花」が咲いていました！さつまいもの花は、様々な気象条件が重ならないと咲かないと言われ、長年さつまいもを作り続けている人も、「初めて見たよ！これは珍しい」と言っておられました。

荘原地区 文化祭

10/10（土）

～ 響きあう心、笑顔の未来へ ～

荘原地区文化祭実行委員長　森脇　孝充

令和8年度の文化祭は、澄み切った秋晴れの下、小学生の踊りで開幕しました。立ち上げに努力した人の熱い思いがつたわる「子ども羽根盆踊り」や「ViVi Danceキッズ」は、今や地区のイベントに欠かせないものとなっています。

展示コーナーでは、園児や児童、中学生の作品をはじめ、荘原の歴史を生かす尼子十旗に関する高瀬城跡保存活動の展示、シニア世代の竹細工や高齢者福祉施設利用者の作品が並び、多くの感動を呼びました。屋外では、やまももの会オープンカフェ、熊本地震の義援金付きサツマイモご飯、豚汁の他、地元のお店による出店で賑わいました。

今回は、出雲村田製作所、島根富士通、島根島津の3企業の有志の方々が新たに加わり、子どもたちとのゲームを通したSDGs活動を通じて、これまでにない新しい「交流の輪」が広がりました。消防団による子ども向けの消火器による的当て体験にも親子や団員の笑顔がありました。

この素晴らしい伝統を「笑顔の未来」へ継承するためには、世代間の交流が不可欠です。スタッフの高齢化という課題を迎える今、あなたの新しい視点や感性での実行委員会への参加も必要としています。「前日の準備だけ」「当日半日だけ」の協力も大歓迎です。

スタッフのおもてなしと850名の来場者の参加が「響き」あい一体となり、関わったすべての人に元気と「笑顔」をもたらす素晴らしい文化祭となりました。支えてくださったすべての方に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

オープニングセレモニー


子ども盆踊り教室

盆踊りと息の合ったダンスで、オープニングを華やかに飾りました！


ViVi Danceキッズ

スタンプラリーだよ♪



スタンプを集めて、いざガラポン抽選会へ！

10/7（水）～10/8（木）

文化祭に向けて、大掃除と準備を行いました！


たくさんの方々に支えられ、文化祭の準備が整いました！▶

◀教室・サークルの皆さんのおかげで、館内がピカピカになりました！

働く車の展示


放水体験に挑戦、貴重な体験にみんな興味津々



ちびっこ警察官に変身！



子どもから大人まで、日頃の活動の成果が光る作品展示となりました

小さな芸術家たちの力作を展示！






健康を見つめ直すきっかけに


作り手の思いが伝わってきます



温もりあふれる作品が勢ぞろい


心を込めて生けました


一文字一文字に思いを込めて



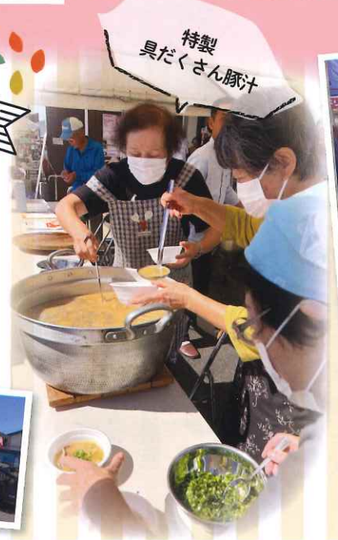

細やかな工夫が詰まった素敵な作品が会場を彩りました

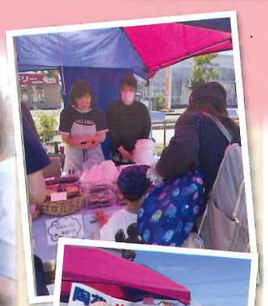



色彩豊かな力作

お店とのふれあいも楽しみのひとつ。笑顔あふれるマルシェとなりました










荘原コミセンまちづくり部・こども倶楽部、干物屋さん、サークル活動をされているエコフレンドリー倶楽部とジャスミンの皆さんが、文化祭での売上金を熊本地震被災地支援として寄付されました。

ふれあいサロン
おいでませの会

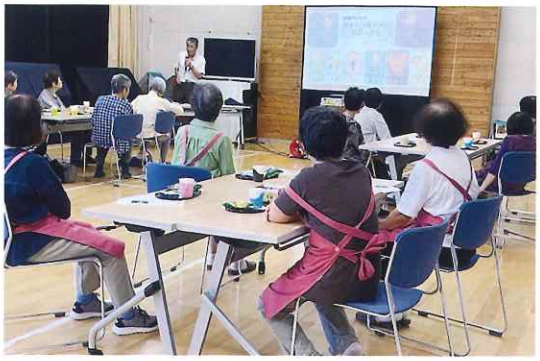
1班 9/8(火)　2班 9/17(木)　3班 9/25(金)

今年も人権について考えました



「おいでませの会」では、毎年の活動として人権同和教育研修を継続して行っています。

今年度も出雲市人権同和政策課の同和教育啓発指導員の先生に講師をお願いし、ビデオ講話を受講しました。



今回は児童養護施設に入所している子どもたちやそこを退所したケアリーバーへの理解を深める内容の研修でした。

講師の先生は「誰もが一人の人間として尊重され、安心して暮らせる社会の実現」をめざして、今後も人権・同和問題について正しい知識を持ち、自分事として行動していきましょうと結んでくださいました。

1班 10/13(火)　2班 10/15(木)　3班 10/23(金)



子どもたちからあふれるパワーをもらいました！



「はつらつモデル地区」の活動として、高齢者交通安全教室も開催

10月の「おいでませの会」は、幼稚園・保育園の子どもたちとの交流と「はつらつモデル地区」の活動として高齢者交通安全教室を開催しました。

子どもたちとの交流は一緒に季節の歌を歌ったり、じゃんけんをしたりしました。また、よさこい踊り、竹馬、なわとびなどの披露もあり、元気いっぱいの子どもたちにたくさんパワーをいただきました。

後半は交通事故防止の話と特殊詐欺に遭わないために気をつけるべきことについて話を聞きました。出雲市のなかでも斐川町は交通事故が多発しており、車の運転をする場合も歩行者として歩く場合にも注意をすることが大切だと再認識しました。シニアカーの試乗もあり、盛りだくさんの時間でした。











ふれあいサロン
おいでませの会

10/20（火）

地域小サロン

歌って笑って♪楽しくフレイル予防！

秋桜サロン

「グループホーム出東ララ」の職員さんと一緒に、歌の脳トレに挑戦！「青い」「想い出」などのヒントを頼りに曲名を当て、正解するとみんなで合唱！あちらこちらから笑い声が聞こえ、和やかな雰囲気に包まれました。

島根県立大学の学生さんからは、脳卒中の初期サインや減塩、健康診断についての話があり、○×クイズを交えながら楽しく学びました。

参加者からは「みんなで集まって歌うのは楽しい」「こうして集まれる場があるのはうれしい」との声が聞かれました。





9/9（水）～10（木）

女性クラブ「やまももの会」

中学生がコミセンの仕事に挑戦！

斐川東中学校の生徒が、荘原コミュニティセンターで職場体験学習に取り組みました。

名刺交換のマナーについてレクチャーを受けた後、JA荘原支店の支店長さんにご協力頂き、名刺交換を体験。その他、専門部の部会への参加やパソコン入力作業などコミセンの仕事について学びました。



緊張しながらも、名刺交換に挑戦

また、「やまももカフェ」では、女性部「やまももの会」の皆さんと一緒に接客を体験。お客さんから注文を聞き、コーヒーやお菓子を運ぶなど、緊張しながらも一生懸命取り組みました。生徒からは「一番大変だったけれど、楽しかった」との感想も聞かれました。

さまざまなことに挑戦し、地域の方々とふれあいながら、働くことや地域活動について学ぶ貴重な2日間となりました。

10/16（金）

Showバラの会（しょうばら）

挿し木講習

今年も、福島博さんを講師に「挿し木講習会」を行いました。まず、台木となるノイバラを採取し、余分な枝などを切り落とし、それを写真のように植えて発根を待ちます。次の段階として、来年2月に「接ぎ木講習会」を予定しております。バラが好きな方や、自宅でもバラを育ててみたい方は、ぜひお問い合わせください。

連絡先:荘原コミュニティセンター
（☎72-4600）担当:糸川







まちづくり部

写真でたどるあの日の荘原 Vol.15

今年は全国各地で自然災害が頻繁に発生しました。年明け早々に島根県東部地震、7月に熊本地震、8月に千葉豪雨、6月から10月にかけて次々に襲来した台風や大雨などなど…。今年は自動車水没のニュースを何度も見ました。

荘原でもかつて大きな災害がありました。今回の「写真でたどるあの日の荘原」は過去に荘原で起きた自然災害を取り上げました。

『天災は忘れた頃にやって来る』～日頃から防災対策をしておくことが大切ですね。



昭和9年　新川水害
救助や様子をみる舟がいるのは宗玄寺の入り口付近。
後方には大黒山が見える。



昭和47年　大水害
荘原駅付近の様子
集中豪雨で宍道湖や河川などがあふれ、著しい被害を及ぼした。

「まちづくり部」では、懐かしい荘原の写真などの歴史資料を募集しています。ご自宅に往時をしのぶ写真などありましたら、荘原コミセンまでお持ちください。写しをとらせていただきます。

感謝状

出雲市長から感謝状を贈呈



令和2年4月から令和8年3月までの6年間、荘原地区自治協会の副会長を務められた渡部 誠治様と原 秀範様のお二人に、出雲市長から感謝状が贈られました。

長年地域のためにご尽力いただき、ありがとうございました。お二人のこれまでの活動に感謝申しあげますとともに、今後益々のご活躍をお祈りいたします。

ありがとうございます

お礼

熊本地震と出雲市今市町建物火災への支援として荘原コミセンに募金箱を設置し、多くの皆様から温かいご支援をいただきました。

お寄せいただいた支援金は、出雲市総合ボランティアセンターへお届けしましたことをご報告致します。温かいご支援、ありがとうございました。

Information

荘原コミュニティセンターよりお知らせ

年末年始の利用について

★荘原コミュニティセンター

12月29日(火)から1月3日(日)まで一般業務、貸館業務はお休みします。

★リサイクルステーション

下記の日程でリサイクルステーションを閉鎖します。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いします。

閉鎖日：令和9年1月2日(土)、1月3日(日)、ともに全日

ご寄付御礼

香典返し　金一封
和田守 正則 様(北田波 自治会)
石倉 美富 様(南灘 自治会)
須田 和男 様(旭町北 自治会)
須田 徹 様(グリーンタウン 自治会)

お寄せいただきましたお志は、全額を荘原地区内の社会福祉事業に活用させていただいております。誠にありがとうございます。ご寄付は随時、荘原コミセンで受け付けます。